

---

Media information

---

【和訳】

NO. 20 /2021

VPR21-007

2021年02月16日(火)

## フォルクスワーゲン グループ、マイクロソフトとの 提携を通じて自動運転の開発を加速

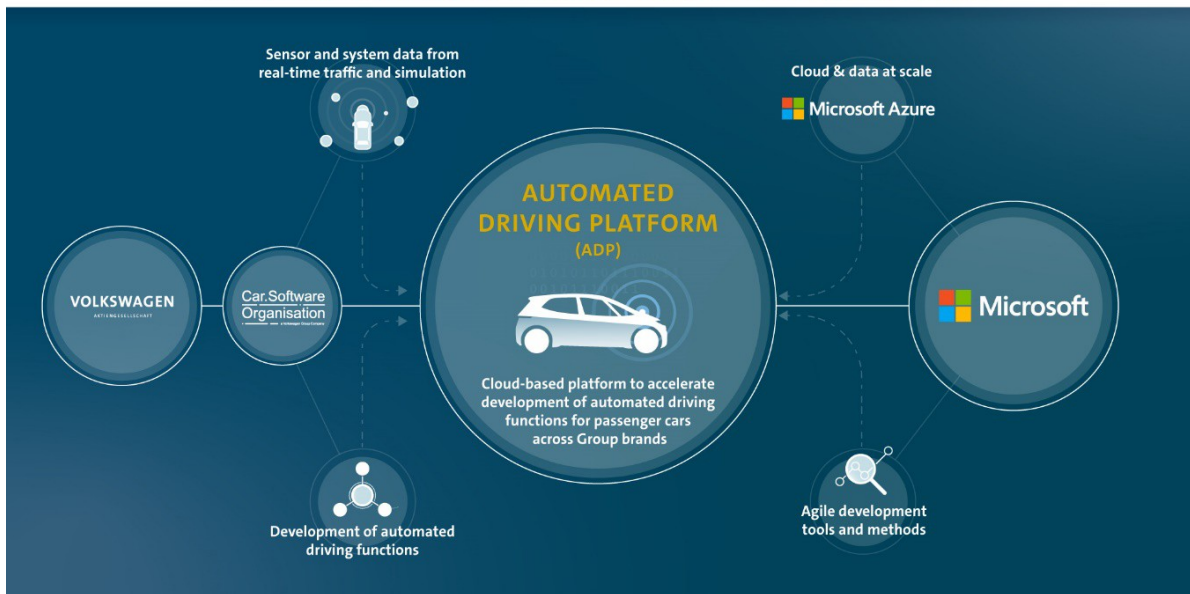
- フォルクスワーゲン グループのCar.Software Organisationとマイクロソフトは、迅速な自動運転機能開発のためのAutomated Driving Platform (ADP)を構築。
- Car.Software Organizationは、クラウドベースのプラットフォームにより、Microsoft Azureでの開発プロセスを簡素化し、より早くフォルクスワーゲン グループの車両に自動運転ソリューションを提供。
- Volkswagen Automotive Cloudと合わせて活用することにより、自動運転機能を検証・展開・運用。

ウォルフスブルグ(ドイツ)ルドモンド、ワシントン(米国)、2021年2月11日: フォルクスワーゲングループは自動運転(AD)ソリューションの開発能力を一層強化していきます。グループ会社のCar.Software Organisationはマイクロソフトとの協力により、Microsoft Azureの計算機能とデータ処理能力を活用し、自動運転体験を世界規模でさらに迅速に提供。ADPをAzureで稼働させることにより、フォルクスワーゲン グループ 内各ブランドの乗用車向けの先進運転支援システム(ADAS)および自動運転(AD)機能の開発効率を向上。フォルクスワーゲンとマイクロソフトは、2018年よりVolkswagen Automotive Cloudを通じた戦略的パートナーであり、このクラウドで、将来的にフォルクスワーゲンの全デジタルサービスおよびモビリティ製品を統括する予定。

「私たちは、フォルクスワーゲン グループをデジタル モビリティプロバイダーへと変革させるにあたり、ソフトウェア開発の効率をさらに向上させることが引き続き課題となっています。そのため、マイクロソフトとともにAutomated Driving Platform (ADP)を構築し、一つのスケーラブルなデータベースエンジニアリング環境を通じて開発作業の簡素化を図っています。コネクテッド ドライビングソリューション開発で培った弊社の専門知識とマイクロソフトのクラウドおよびソフトウェアエンジニアリングのノウハウを組み合わせることにより、安全かつ快適なモビリティサービスの提供を加速します」と、Car.Software Organisation 最高経営責任者(CEO)のディルク ヒルゲンベルクは述べています。

「今回の発表は、フォルクスワーゲン グループとの基本的な取り組みが次の段階に入ったことを意味しており、同グループが目指すソフトウェア主導型モビリティ プロバイダーへの変革を強化するものです」と、マイクロソフト Cloud + AI エグゼクティブ バイス プレジデントのスコット ガスリーは述べています。「Microsoft Azureのパワー、計算機能、データ処理能力、人工知能(AI)の能力により、フォルクスワーゲンは、安全で信頼性の高い自動運転ソリューションを、いち早くお客様に提供できるようになります。」

VOLKSWAGEN GROUP TEAMS UP WITH MICROSOFT TO  
ACCELERATE DEVELOPMENT OF AUTOMATED DRIVING SOLUTIONS



**開発プラットフォームの統一により自動運転および先進運転支援システム ソリューションをより迅速に構築**

先進運転支援システムおよび自動運転車両は、乗員の安全を向上させる助けとなるだけでなく、渋滞を緩和し、モビリティをさらに快適にすることにも貢献します。こうしたソリューションを構築するには、大規模なコンピューター処理能力が必要です。自動運転機能のトレーニング、シミュレーション、検証を行うためには、交通状況や天候に関する情報から障害物の検出やドライバーの行動まで、ペタバイト単位のデータを毎日管理する必要があります。数十億kmに及ぶ実走行およびシミュレーション走行データから学習する、機械学習アルゴリズムが、コネクテッドドライビング体験のカギとなります。

Car.Software Organizationは、開発者体験を簡素化し、グループの車両からの実際の交通データとシミュレーションデータを含む一つの中央データベースを通じて「走行距離からの学習」を活用することにより、マイクロソフトとともにこれらの課題に立ち向かいます。Microsoft Azureの計算機能、データ処理能力、機械学習サービス、アジャイルソフトウェア開発におけるマイクロソフトのノウハウとが相まって、Car.Software Organisationの開発者は世界中から一つの開発環境を利用できるようになります。ADPは、開発サイクルを月単位から週単位まで短縮するとともに、膨大な量のデータを効率的に管理するのに役立ちます。両社は、ADPに関する作業をただちに開始し、開発プラットフォームの機能範囲を継続的に拡大することを目指しています。

両社はさらに、自動運転および先進運転支援システム ソリューションの開発を強化するために、ADPを共有することにより、テクノロジーパートナーがツールやサービスを構築できるようにする予定です。

---

---

## フォルクスワーゲン グループは、車両搭載ソフトウェアの自社開発を強化

フォルクスワーゲン グループは、自動車のデジタル化を急速に推進しています。2025年までに、グループはデジタル化に約270億ユーロを投資し、車に搭載されるソフトウェアの自社開発比率を現在の10%から60%に引き上げる予定です。昨年設立されたCar.Software Organisationは、ソフトウェア主導型モビリティ・プロバイダーへの変革を目指すフォルクスワーゲンにとって、重要な役割を果たします。同社は、フォルクスワーゲン グループ傘下ブランドの将来のモデルに採用される乗用車用高性能運転機能の開発などを含む、グループのソフトウェア能力を束ね、継続的に拡大していきます。

## Volkswagen Automotive Cloudによる先進運転支援システムおよび自動運転ソリューションの導入と運用

2018年以来、フォルクスワーゲンとマイクロソフトは、将来、グループ ブランドおよびそのモデルに提供する、すべてのデジタルサービスとモビリティ製品を統合するVolkswagen Automotive Cloud (VW.AC) 構築のために協力してきました。シアトルを拠点とするVW.ACエンジニアリングチームは、Azureエッジサービスを介して、車両とクラウド間のデータ交換を実現しています。クラウド接続により、フォルクスワーゲンは車両のハードウェアを触ることなく、車両のアップデートや新機能を提供し、お客様の体験を継続的に改善していきます。

このような接続機能を搭載した最初のVW.ACテスト車両は、2021年内に実走行を開始する予定です。製品としての実用化は、2022年を予定しています。Car.Software Organisationは、ADPとVW.ACを統合し、ソフトウェア ソリューション、ツール、メソッドの一体化をさらに進めて、世界中のエンジニアリング チーム、お客様やパートナーの利便性を強化します。VW.ACにより、グループの車両フリート全体で、ADP上で開発された自動運転および先進運転支援システム機能のテスト、展開、運用が可能になります。

※ 当リリースの英語版、関連の画像、そしてCar.Software OrganisationのCEOを務めている

Dirk Hilgenberg とのインタビュー

(英語のみ"The Automated Driving Platform is a customized tool")につきまして

[www.volkswagen-newsroom.com](http://www.volkswagen-newsroom.com) をご参照ください。

---

---

About Car.Software Organisation:

Car.Software Organisation is an automotive software company in the Volkswagen Group that bundles and further expands the Group's software competencies to transform automotive mobility. Founded in 2020, it develops the leading tech stack for the automotive industry with the mission to make the automotive experience safer, more sustainable and more comfortable in a new way – for everyone, everywhere. Around 4,000 engineers and developers around the world are building a uniform software platform for all brands of Volkswagen Group, which includes a unified architecture, an operating system and automotive cloud. The new software platform will first come to play at the end of 2024. In addition, it works on outstanding digital automotive features, including AD and ADAS solutions, one infotainment platform, software functions for linking powertrains, chassis and charging technology as well as new ecosystems and digital business models in and around the vehicle. The Car.Software Organisation operates in software competence centers in Wolfsburg, Ingolstadt, the area of Stuttgart, Berlin and Munich, as well as Seattle.

About the Volkswagen Group:

The Volkswagen Group, with its headquarters in Wolfsburg, is one of the world's leading automobile manufacturers and the largest carmaker in Europe. The Group comprises twelve brands from seven European countries: Volkswagen Passenger Cars, Audi, SEAT, ŠKODA, Bentley, Bugatti, Lamborghini, Porsche, Ducati, Volkswagen Commercial Vehicles, Scania and MAN. The passenger car portfolio ranges from small cars all the way to luxury-class vehicles. Ducati offers motorcycles. In the light and heavy commercial vehicles sector, the products range from pick-ups to buses and heavy trucks. Every weekday, 671.205 employees around the globe produce on average 44,567 vehicles, are involved in vehicle-related services or work in other areas of business. The Volkswagen Group sells its vehicles in 153 countries.

In 2020, the total number of vehicles delivered to customers by the Group globally was 9.31 million (2019: 10.97 million). Group sales revenue in 2019 totaled EUR 252.6 billion (2018: EUR 235.8 billion). Earnings after tax in 2019 ended amounted to EUR 14.0 billion (2018: EUR 12.2 billion).

About Microsoft:

Microsoft (Nasdaq "MSFT" @microsoft) enables digital transformation for the era of an intelligent cloud and an intelligent edge. Its mission is to empower every person and every organization on the planet to achieve more.

---